

AMUSEMENT SQUARE stage

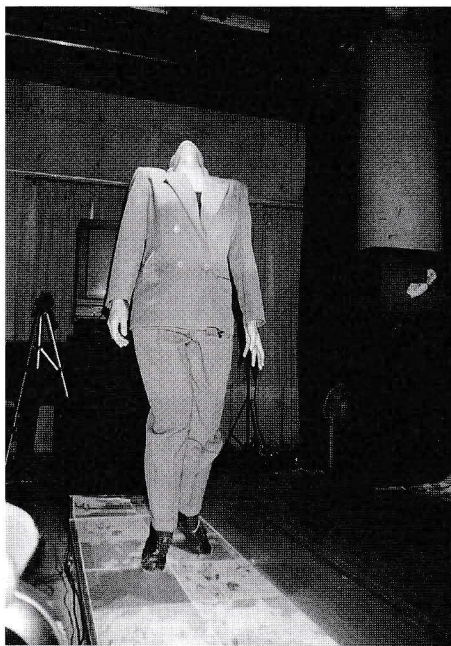
モレキュラーシアター「ゴゾーオペラ：オシリス」八戸公演

何千人いても、一人と二人(！)

〈文／演出家・豊島重之(八戸市在住)〉

先日、八戸市公会堂でダンスパ
レエ・リセの公演を観た。そこ
には二つの驚きがあった。一つは大
久保一恵作品『ソネット』。なん
と舞台上に観客を引っぱりあげたの
である。舞台にもう一つ客席をつ
くるなんてよくあることだ。そう
ではなく大久保は、痛快なゲーム
感覚と鋭敏なダンス思考を駆使し
て、フィクションとドキュメント
をかがり縫いたような「皮膜と
しての観客」をクリエートしたの
だ。6ペアの外見をとりつつ、あ
くまで一人の踊り手にとつての一
人の観客という「かけがえのなさ」
が、その皮膜には縫いこまれてい
る。さらにそれをドキドキしながら
私たちが観客が目撃するという複
層構造(「観客」をみる観客とは
一体どういう観客なのか、という

問いが織りこまれた構造)になっ
ていたのだが、脱がされた靴を
「観客」が再び履きもどすラスト
で、その構造に春雷のような裂け
目が走った。それに気づいたのは
私だけではない。こうしたこと
を颯爽と実現してしまうからこ
そ、大久保一恵は世界に通用する
ダンスアーティストなのであつ
て、彼女が海外公演を何度も(オ
ーストラリア・韓国につづいて
今年もフランス公演を)果たして
いるからなのでは決してない。
もう一つの驚きは、言うまでも
なく『豊島和子ソロ』であり、そ
れを観た感動を東京日報紙に書い
た成田はる氏(弘前在住)の筆致
における気迫である。「果たして
人は五十年も踊り続けることがで
きるものなのか」という答えのな



9月東京公演での大久保一恵のステージ

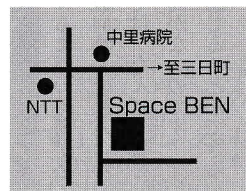
い問いに襲われるようにして、成
田氏が客席に身を沈めていたのは
文面から明らかだ。「目を逸らし
たら最後、それはどちらかが息絶
える時なのだ」。そのような一人
の踊り手と一人の観客との壮絶な
闘いがそこにはあった。幸か不幸
か、ではない。幸も不幸も善悪の
彼岸さえも超えてしまった、比類
なき遭遇ともいふべきものがそこ
にはあった。

繰り返す。この二つの驚きはこ
こ八戸で、この青森県であったこ
となのだ。東京やパリやニューヨ
ークのことではないのである。私
たちモレキュラーシアターは、こ
の二つの驚きを12月16・17日『ゴ
ゾーオペラ：オシリス』公演
(詳細はP32のピックアップ欄を
参照)になんとかして導入したい
と考えている。できないかもしれ
ない。私たちは豊島和子でも成田
はる氏でもないのだから。けれど、
二人の遭遇のかけがえのなさ、
すでに震撼させられてしまったこ
とを忘れて舞台を創ることはでき
ない。舞台とはそういうものだ。

公演体制には万全を尽くした。
県の文化アドバイザー・県立図書
館々長・近代文学館々長であり、
かつてはNHKアナウンサーとし
て熊本県立劇場館長として全国的
に活躍した鈴木健二氏や、詩人稲
川方人氏がレクチャラーとして顔
を揃える。阿氏とも前述の「驚き」
の意味に言及できる人物である。

『ゴゾーオペラ：オシリス』
は詩のオペラ化であって、所謂グ
ランドオペラではない。世界二〇
ヶ国語に翻訳されている詩人吉増
剛造の詩集「オシリス、石ノ神」

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車で
のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

問 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

FANSの番組につきましては、デー
リー東北の「あすのメモ」「きょうの
メモ」欄でご確認下さい。

FANSでは、役者、スタッフ、
その他何でも、何かを表現して
みたい人を募集しています。ご
遠慮なく、ご連絡下さい。

12月のFriday Amusement Negative Shop

- 3日(第304回)
「FANSプレゼンツビデオ上映会11」
- 10日(第305回)
「FANSプレゼンツビデオ上映会12」
- 17日(第306回)
「FANSプレゼンツビデオ上映会13」
- 24日(第307回)「クリスマス企画予定」
- 31日(第308回)「勝手に忘年会」

●FANS番外篇●

■5日(日) 14時30分開演
劇団INTEL VISTA八戸公演「音がする。」
作／沼澤豊起 演出／高橋美穂子
出演／沼澤豊起、赤沼哲史、渡部純子、織笠静子、
田面木昭憲、金沢典昭
料金／一般……1500円・高校生以下……1000円
(※当日500円増し)

■11日(土) 19時30分開演
12日(日) 14時30分開演
DANCE WAG追加公演「HISTORY」
料金／一般……2000円・高校生以下……1000円
(当日500円増し)

をメインに、長者山・八甲田山・
三内丸山を読みこんだ詩篇を鋭
の作曲家港大尋が作曲した。私は
港に「子供の耳」のために作曲し
てくれと注文をつけた。誰もが聴
いたはずなのに今や誰一人として
聴くことのできない「どこか奥地
の子の耳」のために、「二千年年
の耳」のために、と。それを今、
この八戸でああなたは聴くことがで
きるにちがいない。



オルレアン公演直前のひととき。
久米田順子(本年6月。ジャンヌ・
ダルク像の前で)

※「ゴゾーオペラ：オシリス」八戸公演の詳細はP32のピックアップを参照。